様式第１－３号（第８条関係）

誓　約　書

教育旅行支援事業支援金に関して、次のとおり誓約します。

１　申請書類の内容は全て事実です。虚偽が判明した場合又は申請要件に該当しない状況となった場合は、支援金を返還します。

２　申請者は、次の１～５のいずれにも該当しません。

|  |
| --- |
| １　事業者の代表者、役員又は使用人その他の従業員もしくは構成員が暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第77号）第２条第６号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）である。  ２　暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第２条第２号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員が経営に実質的に関与していると認められる。  ３　役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員の利用等をしたと認められる。  ４　事業者の代表者、役員又は使用人その他の従業員もしくは構成員が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持若しくは運営に協力し、又は関与していると認められる。  ５　役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められる。 |

３　本事業で利用する貸切バス事業者及び宿泊事業者は、全て、道が定めた「新北海道スタイル」安心宣言を掲示し実践する事業者であり、かつ、道の「感染拡大防止ガイドライン策定普及モデル事業」により策定したガイドラインを遵守する事業者であることを確認しました。

令和　　年　　月　　日

教育旅行支援事業事務局　様

所在地

名称

代表者名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印